

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大腿骨近位部骨折における骨粗鬆症治療の実態に関する研究

[研究責任者] 総合診療科 医師 吉岡瑞姫

[研究の背景]

現在大腿骨近位部骨折や椎体骨折を起こした患者さんや、その他の弱い力でも起こる骨折を起こしたことがある骨密度が 80%以上の患者さん、50 歳以上で骨密度が 70~80%の患者さんは骨粗鬆症治療を行うことが推奨されており、第一選択薬は「ビスホスホネート」というお薬です。

日本ではこれまで、大腿骨近位部骨折を起こした患者さんの骨粗鬆症治療の実態調査としては、内服している薬や手術前後での内服率、内科的な疾患の有無、退院したあとの場所といったものであり、詳しい情報については調査されていません。

本研究では、大腿骨近位部骨折を起こした患者さんの骨粗鬆症治療の有無、治療を行っていた場合の内容や手術前後での内服の有無、生活歴、ADL 等を含む情報を詳しく調べることで、当院における骨粗鬆症治療の改善に繋がりたいと考え、研究を計画しました。

[研究の目的]

大腿骨近位部骨折を来した患者さんの情報を解析することで、骨粗鬆症治療を実際に受けている人はどういう人なのかの実態を明らかにすることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腿骨近位部骨折を起こした患者さんで、西暦 2022 年 6 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターへ入院した方

●研究期間：倫理審査委員会承認後から西暦 2026 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

- ① 大腿骨近位部骨折と診断された時の情報(年齢や性別、何の病気で通院しているか)
- ② 生活歴(どこに住んでいるか、喫煙・飲酒歴、かかりつけの有無)
- ③ 骨折に関する情報(どうやって骨折したか、骨折した場所、骨折の回数)
- ④ 骨折に対する治療(手術したかどうか、手術した日、手術の方法)
- ⑤ 骨粗鬆症に対する治療(骨折前に治療していたか、治療していた場合の薬の名前・

期間、手術の前後で再開できたか、再開しなかった場合の理由)

⑥ 手術のあとどうなったか

●検体や情報の管理

カルテ情報は、情報は、長崎医療センター内で集計、解析し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

総合診療科 医師 吉岡 瑞姫

電話番号：0957-52-3121（代表）